

『向原発電所』のリパワリング工事完了のお知らせ

東京発電株式会社(本店:東京都台東区 代表取締役社長:坂本 邦隆^{さかもと くにたか})は、2015年10月に静岡県伊豆市湯ヶ島の『向原発電所(1941年11月運転開始)』のリパワリング工事に着手し、出力820kWから950kW(水車発電機:横軸フランシス水車, 三相同期発電機)に増出力を図り、2016年11月15日に営業運転を再開いたしました。

これにより当社が関東甲信越に保有する76箇所の水力発電所の総出力は、185,972kWとなります。

2015年10月に着工した、静岡県伊豆市湯ヶ島の向原発電所(1941年11月運転開始)のリパワリング工事が完了し、11月15日に運転を再開いたしました。

同発電所は、一級河川狩野川水系狩野川より毎秒2.31m³を取水し、約47mの落差を利用して最大820kWを発電しておりました。この度、「水車発電機」「制御装置」「変電設備」「水圧管路の一部」「発電所建物」を取替えるリパワリング工事を行い、同取水量のまま、水車発電機の効率向上等により950kWへ増出力を図りました。

今回の工事に合わせ、流用する水路設備の健全性を確認し、「取水設備」「導水路」「水槽」について一部修理を行いました。

向原発電所は伊豆の中心に位置し、近隣には歴史が古く多くの観光客が訪れる湯ヶ島温泉があります。工事にあたり、近隣の旅館をはじめ地域の皆さまにご協力を頂くと共に、大型重機の使用に時間制限をかけるなど、ご迷惑がからぬよう細心の注意を払い施工しました。

また、発電所には車両の出入りができるアクセス道路がなく、近傍駐車場に仮設ステージを設置し、移動式クレーンにて駐車場から発電所間の約14mの高低差を資機材・機器等の搬出入を行いました。

向原発電所は、運転開始から70年を迎え、「水車発電機等」の老朽設備を更新し、新たなスタートを切ると共に、既存の「水路設備等」については今後も的確なメンテナンスを行うことで、長期に亘り安定運転を継続してまいります。

今回のリパワリング工事により、当社が関東甲信越に保有する76箇所の水力発電所の総出力は、185,972kWとなります。また、同発電所で発生した電気は、再生可能エネルギー固定価格買取制度により売電いたします。

当社は、引き続き地域社会と協調し、再生可能エネルギーの普及拡大とともに低廉で安定した電力の供給に努めてまいります。

【発電所概要】

- (1)最大出力:950キロワット
- (2)水車:横軸フランシス水車 1台
- (3)発電電力量:年間約580万キロワットアワー
(一般家庭約1,900軒分の年間使用電力量に相当)
- (4)発電所位置:静岡県伊豆市湯ヶ島

【プレスリリース】

【問い合わせ先】

東京発電株式会社水力事業部事業総括グループ 角 TEL03-6371-5159

東京発電株式会社ホームページ : <http://www.tgn.or.jp/teg/>

リパワリング前



リパワリング後



水車発電機



発電所建物